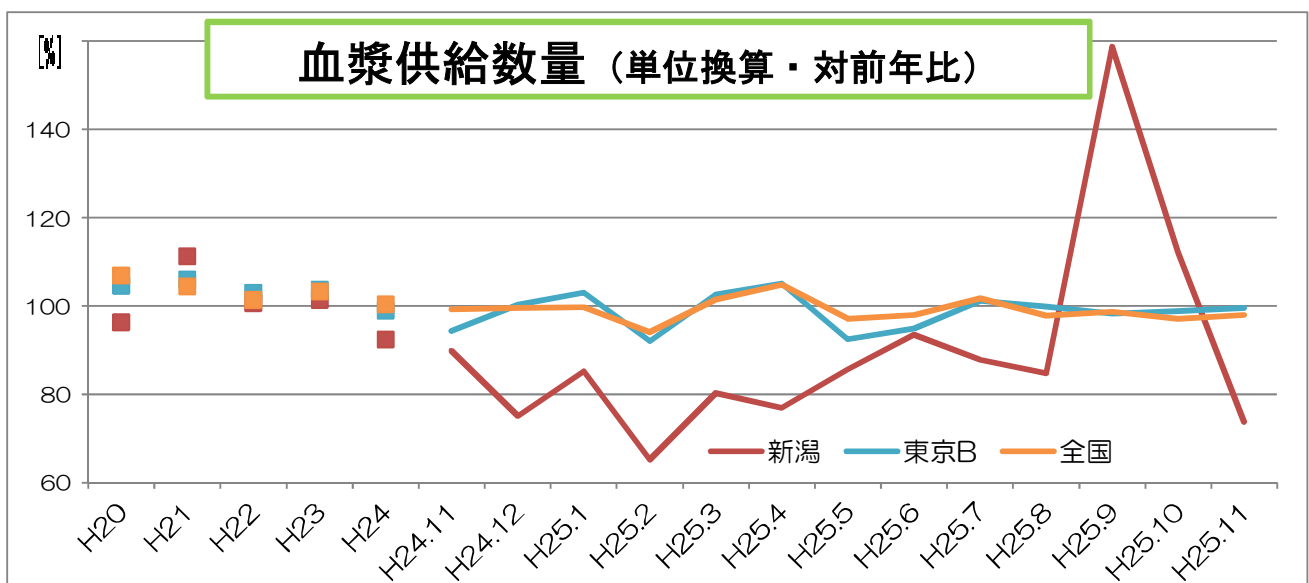
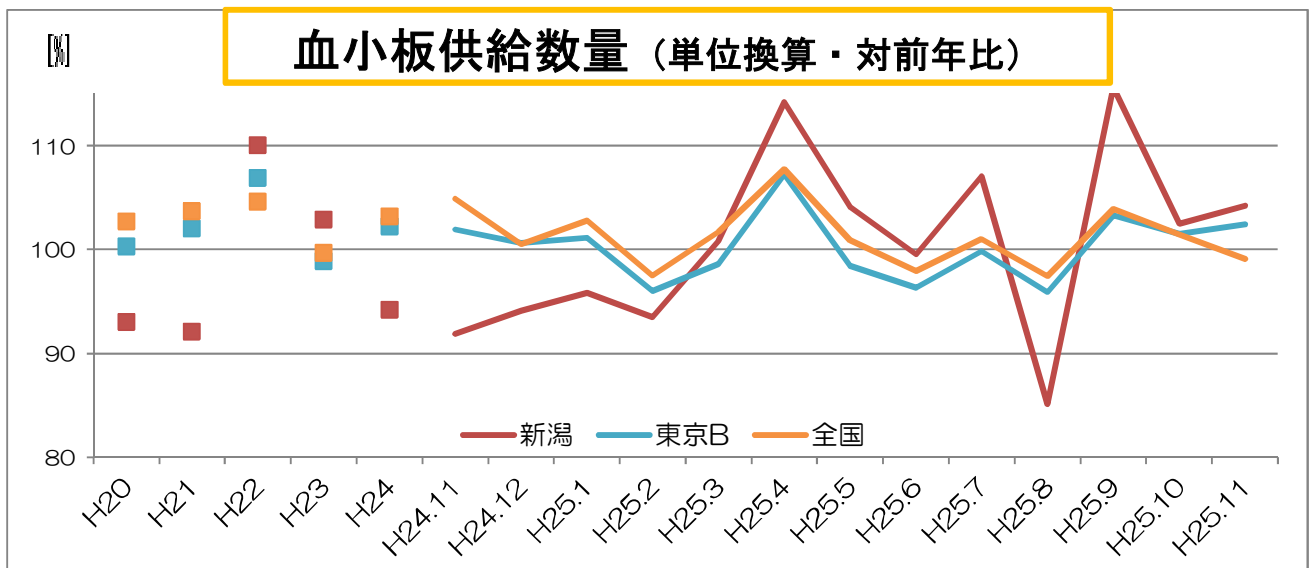
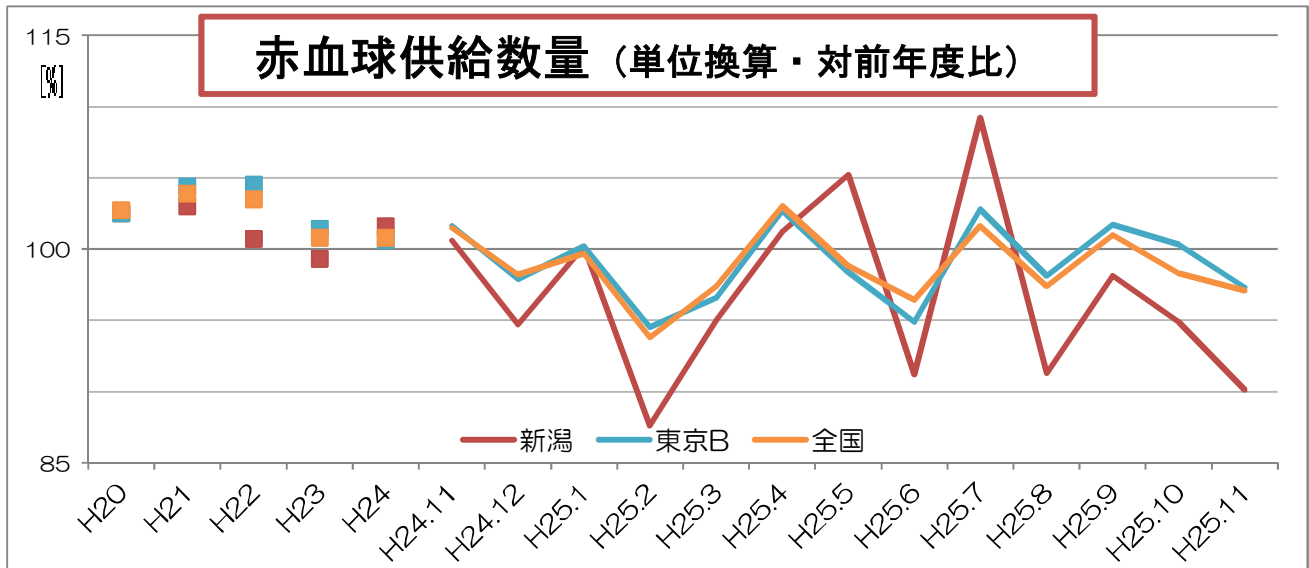
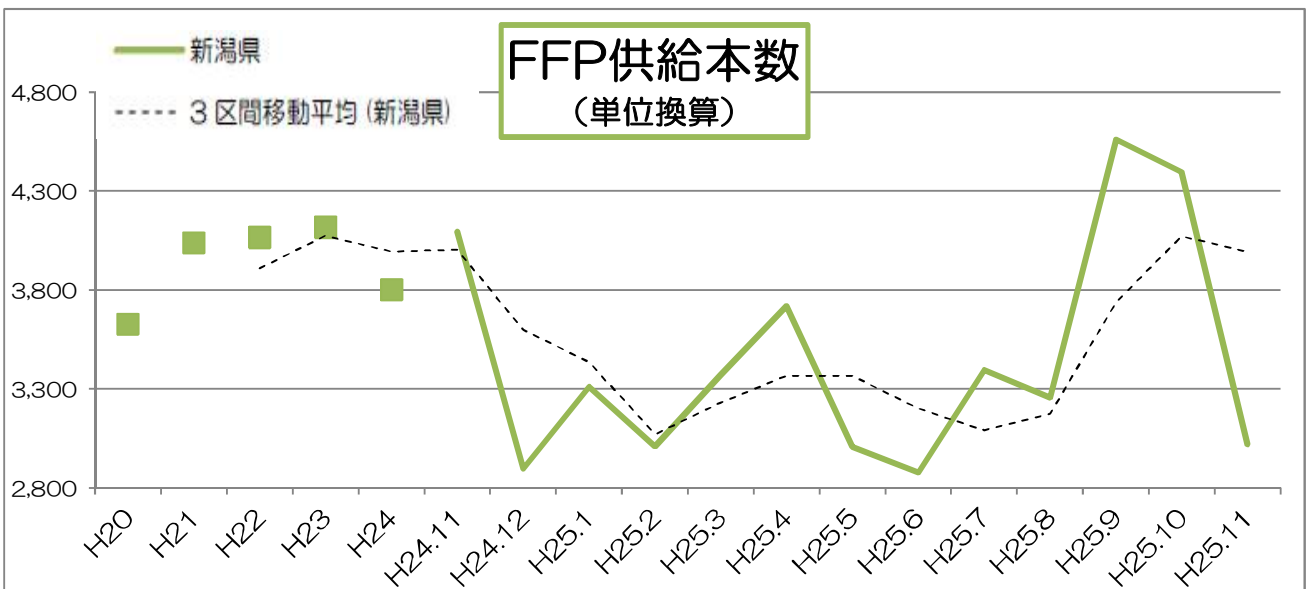
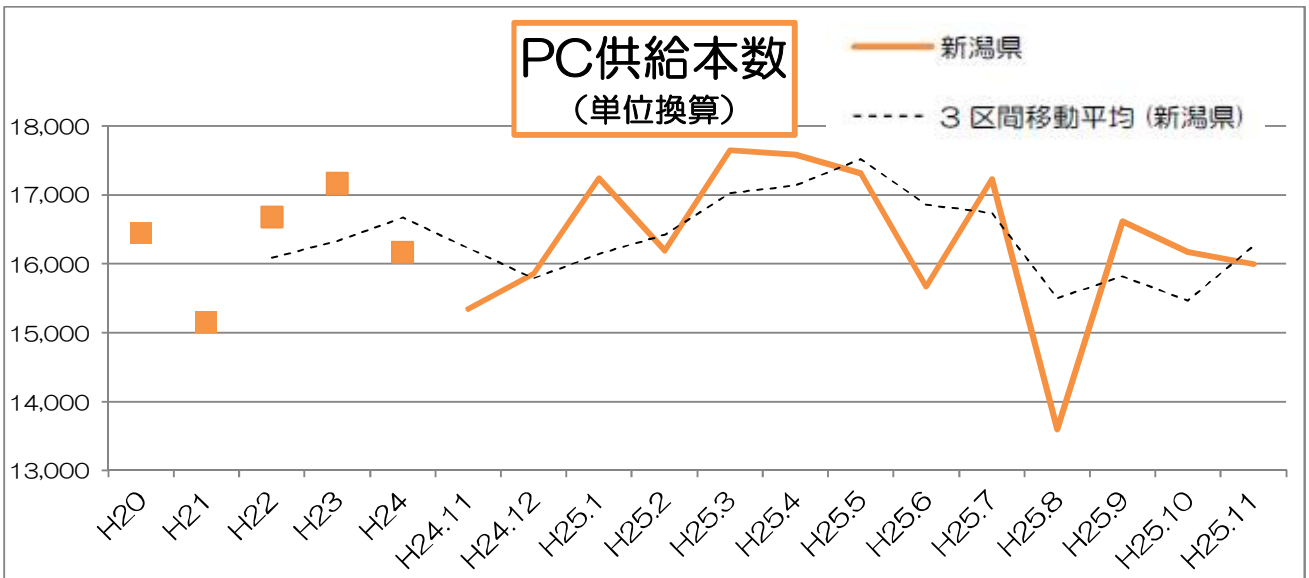
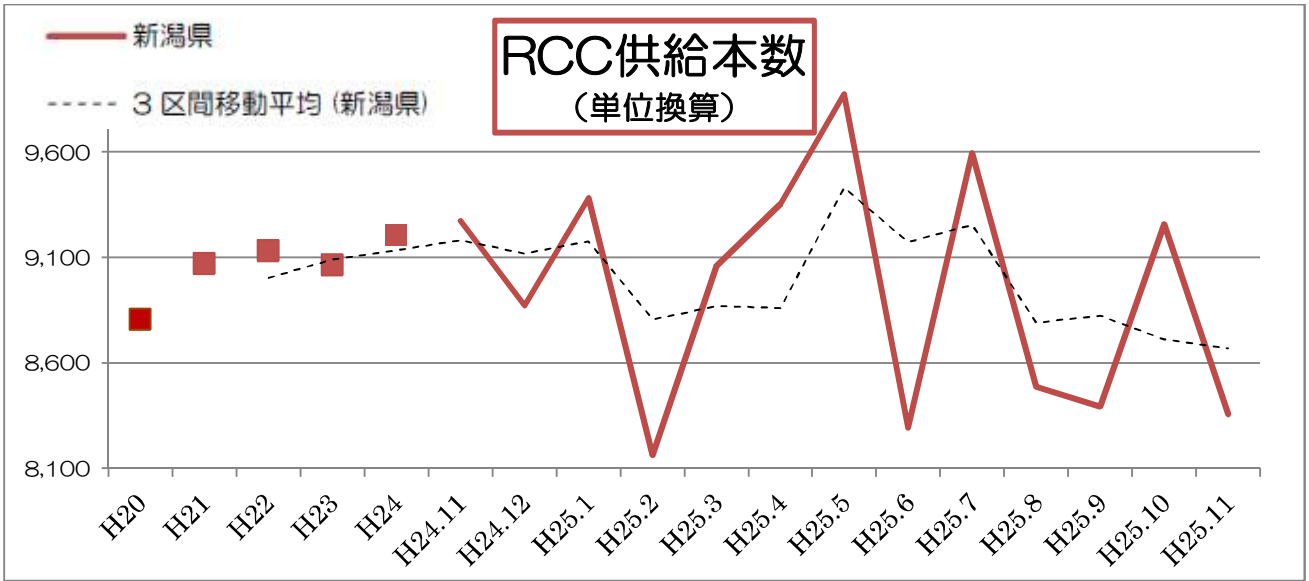


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





H25 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆11 月の特徴：先月に比べ赤血球製剤は 10%減少。血小板製剤は A 施設が増加傾向。血漿製剤は 120L を越える減少。内訳は内科と外科が 30%減、また血漿交換量が半減。規模別では A 施設 15% (20L)、B 施設 50% (91.3L)、C 施設 60% (9.8L) の減少となった。

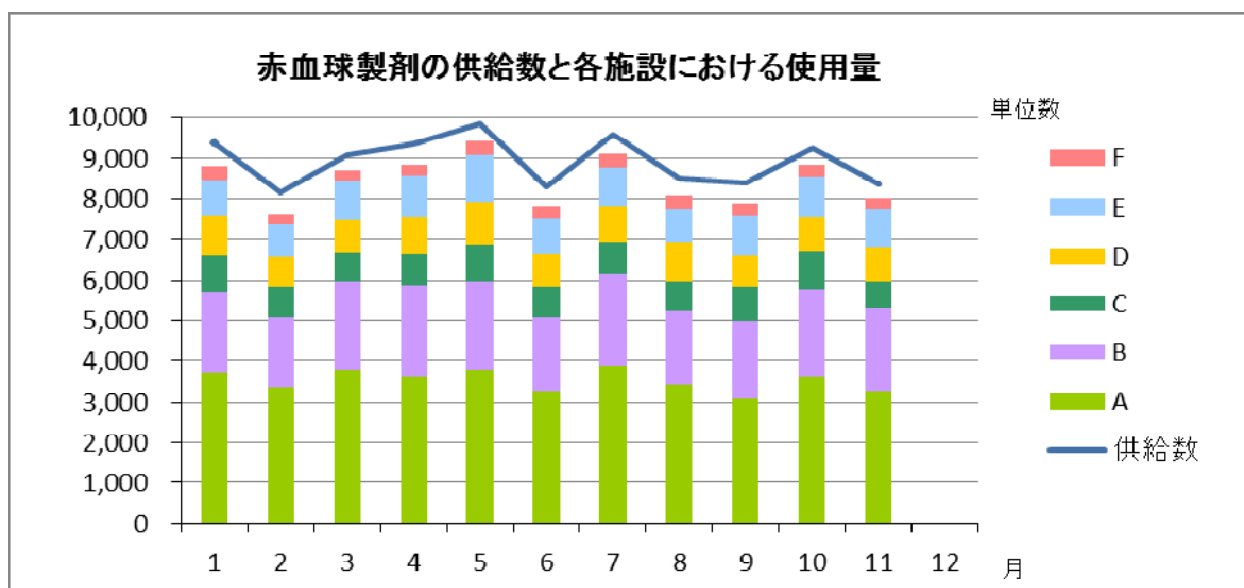
施設規模(一般病床数による)		施設数	病床数
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,425
E	100～199床	22	3,475
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,496

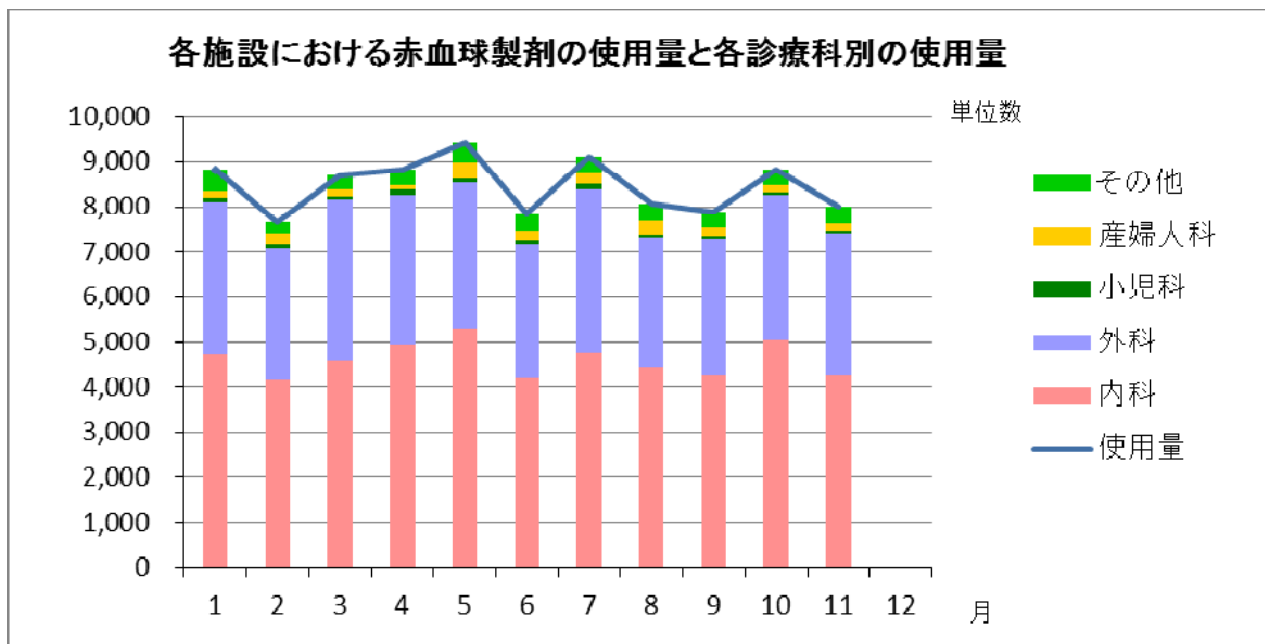
○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,271	1,732	1,098	61	106	274	3,271	100.0
B	2,006	1,074	874	0	44	14	2,006	100.0
C	696	408	260	0	10	18	696	100.0
D	859	375	438	0	0	46	859	100.0
E	922	484	418	0	2	18	922	100.0
F	246	188	48	0	0	10	246	100.0



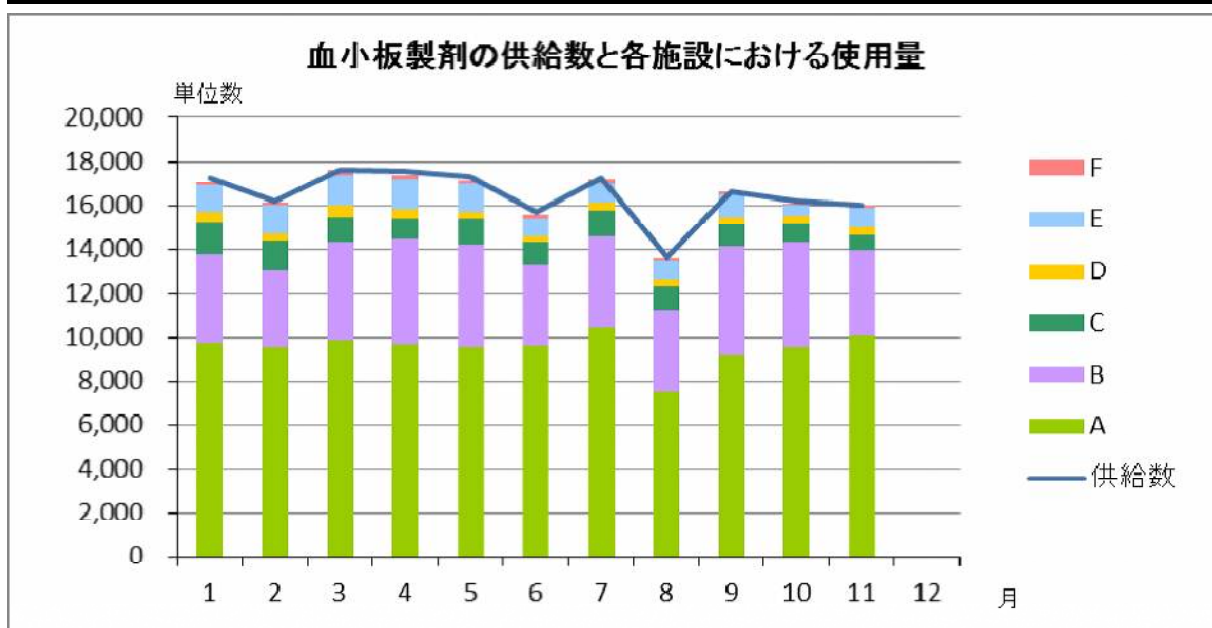


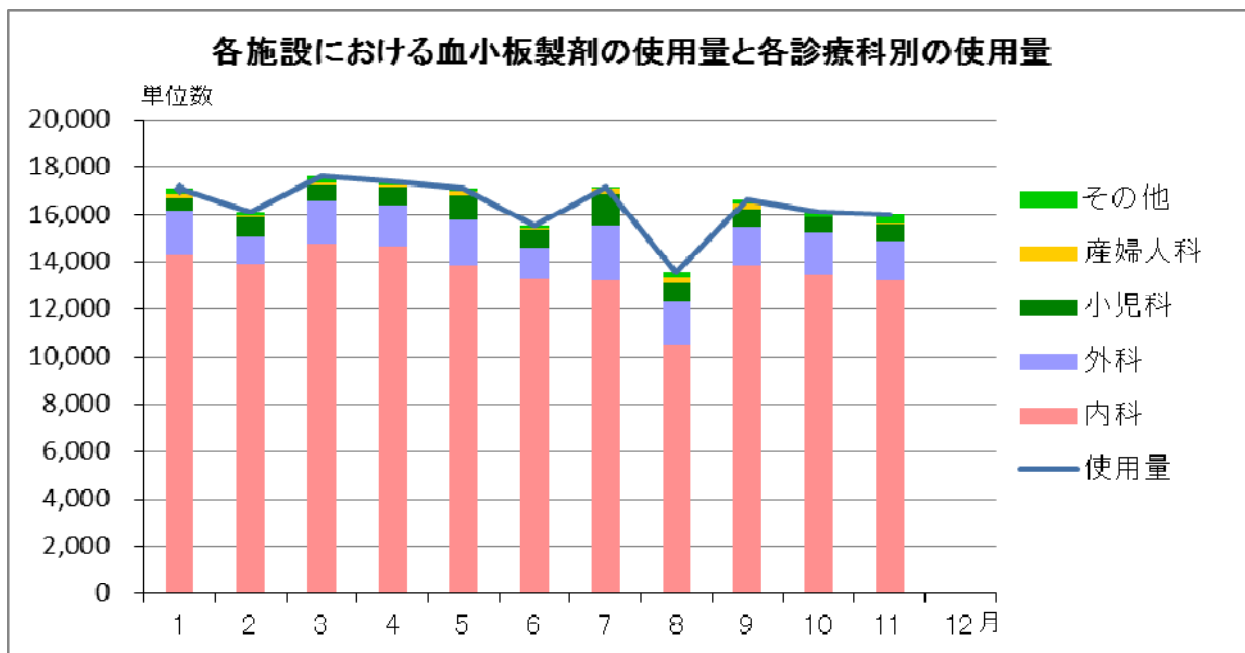
○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	10,047	8,290	695	657	70	335	10,047	100.0
B	3,925	3,210	705	0	10	0	3,925	100.0
C	660	560	100	0	0	0	660	100.0
D	380	325	45	0	0	10	380	100.0
E	880	790	90	0	0	0	880	100.0
F	105	105	0	0	0	0	105	100.0



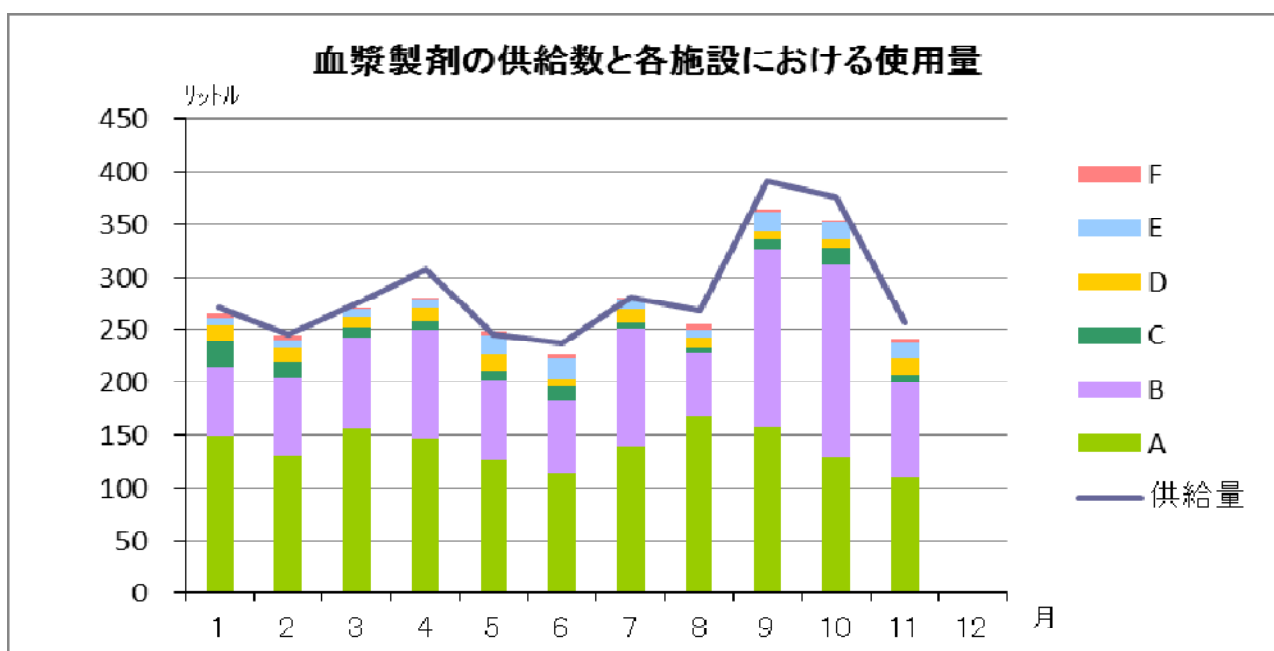


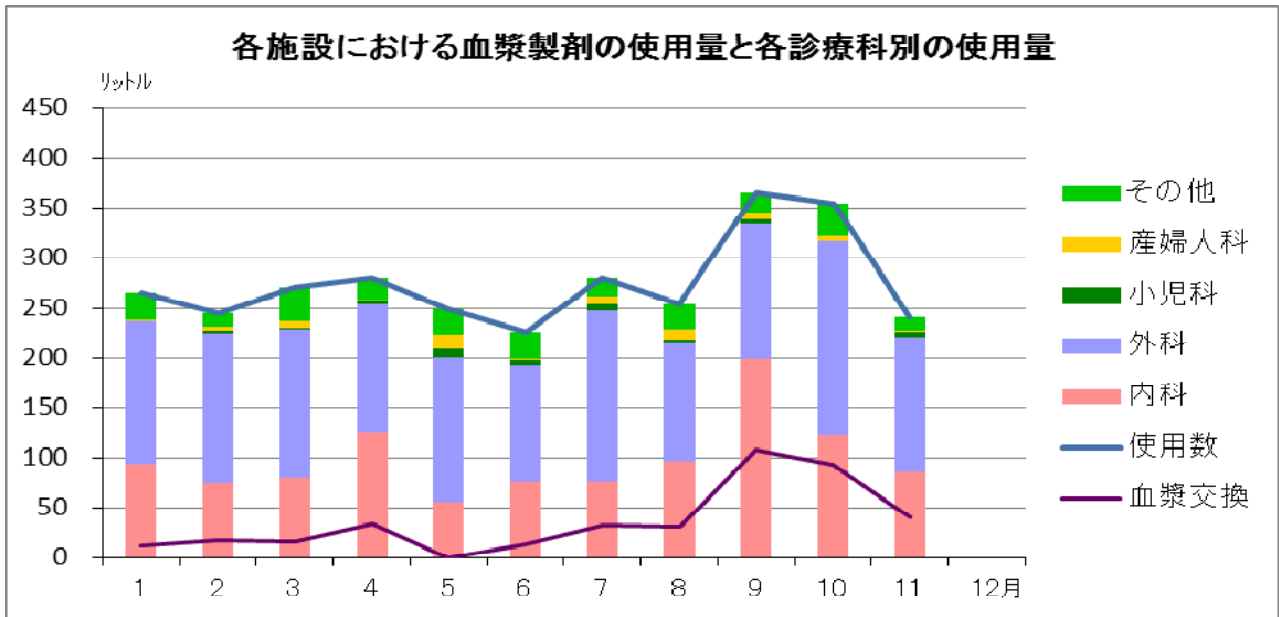
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別						計	全体の使用量 に対する割合 (%)
		血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	109.6	14.4	31.2	60.7	4.4	0.7	12.5	109.6	100.0
B	90.6	25.7	42.8	47.3	0.0	0.5	0.0	90.6	100.0
C	6.7	0.0	1.9	4.8	0.0	0.0	0.0	6.7	100.0
D	16.8	0.0	1.4	13.4	0.0	0.0	1.9	16.8	100.0
E	14.3	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	14.3	100.0
F	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	100.0



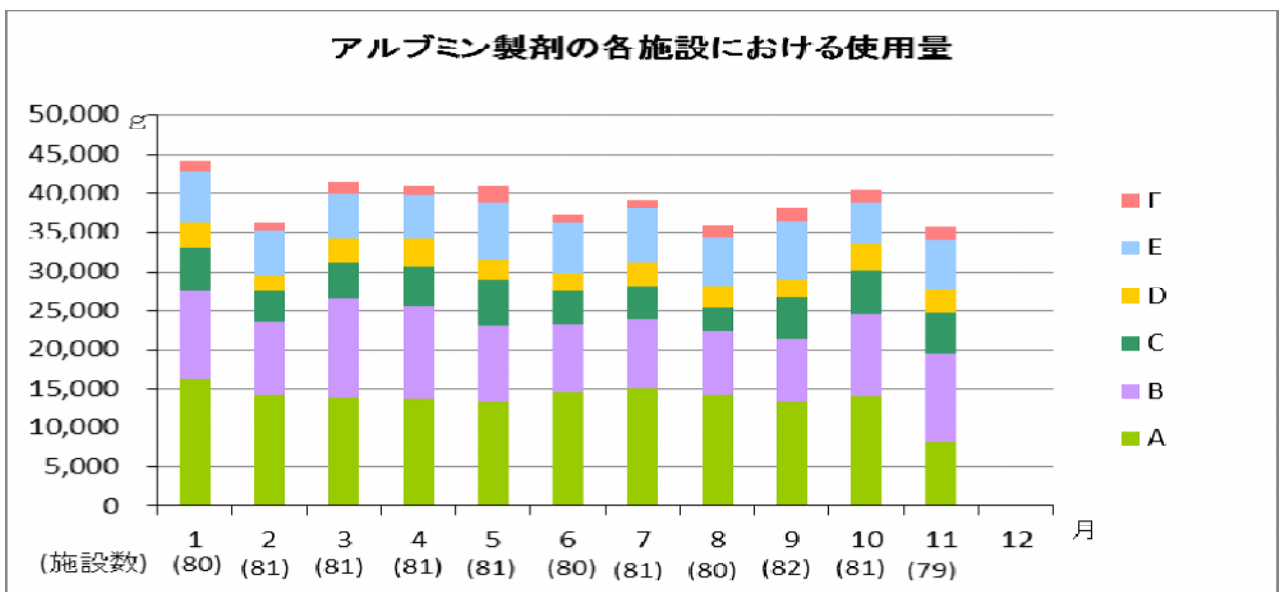


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- * () 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	8,238.0	2,297.5	3,382.5	133.0	375.0	387.5	6,575.5	79.8
B (5/5)	11,237.5	3,525.0	4,862.5	0.0	62.5	0.0	8,450.0	75.2
C (7/7)	5,263.5	2,525.0	2,738.5	0.0	0.0	0.0	5,263.5	100.0
D (9/10)	2,831.3	1,362.5	606.3	0.0	0.0	0.0	1,968.8	69.5
E (21/22)	6,433.5	3,690.0	1,476.0	0.0	25.0	330.0	5,521.0	85.8
F (32/32)	1,713.5	1,315.0	198.5	0.0	0.0	200.0	1,713.5	100.0

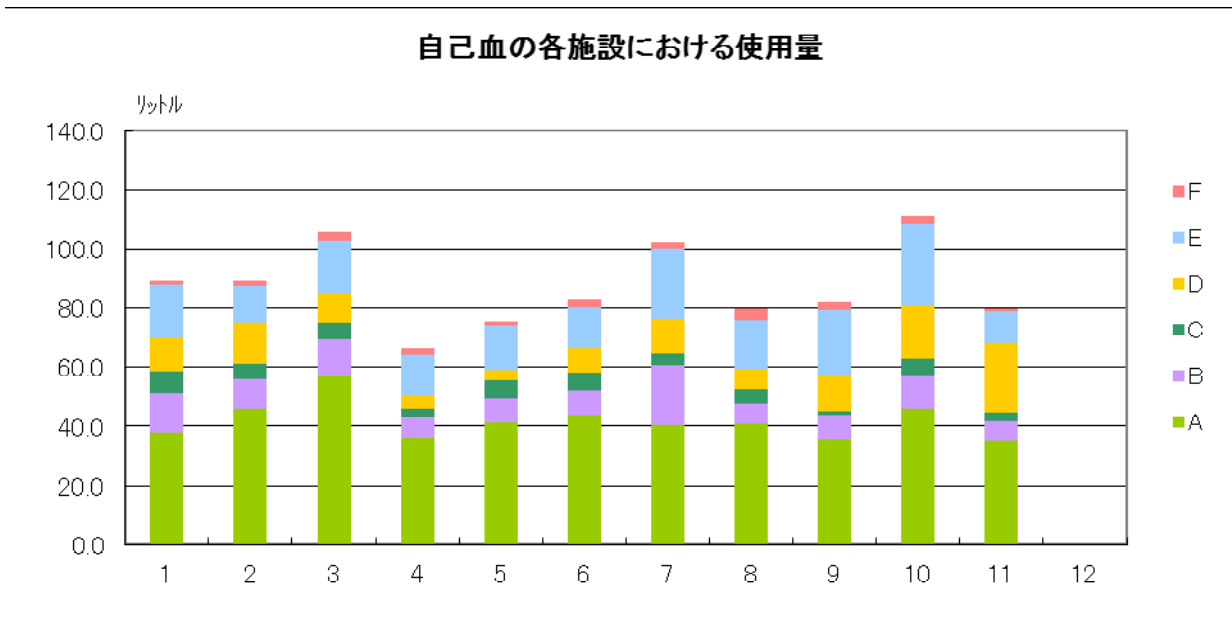


○自己血

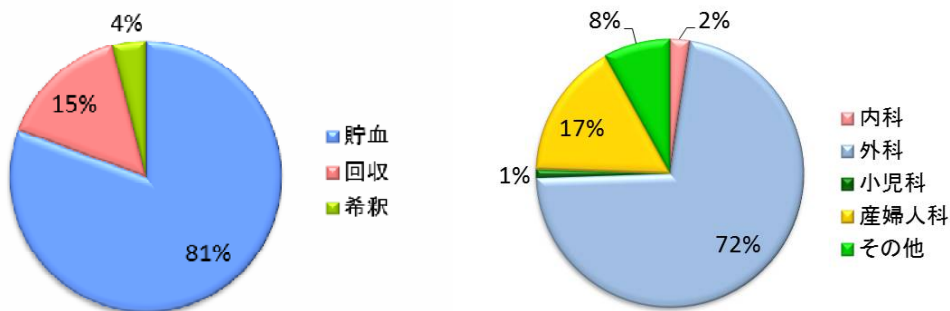
自己血の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							計	全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他				
A	25.5	6.7	3.2	35.4	1.9	22.4	0.8	10.3	0.0	35.4	100.0		
B	5.9	0.6	0.0	6.5	0.0	4.4	0.0	2.1	0.0	6.5	100.0		
C	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.4	0.0	0.4	0.0	2.8	100.0		
D	18.6	5.1	0.0	23.7	0.0	20.9	0.0	0.4	2.4	23.7	100.0		
E	10.8	0.0	0.0	10.8	0.0	6.8	0.0	0.0	4.0	10.8	100.0		
F	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	100.0		
計	64.4	12.3	3.2	79.9	1.9	57.6	0.8	13.2	6.4	79.9	100.0		



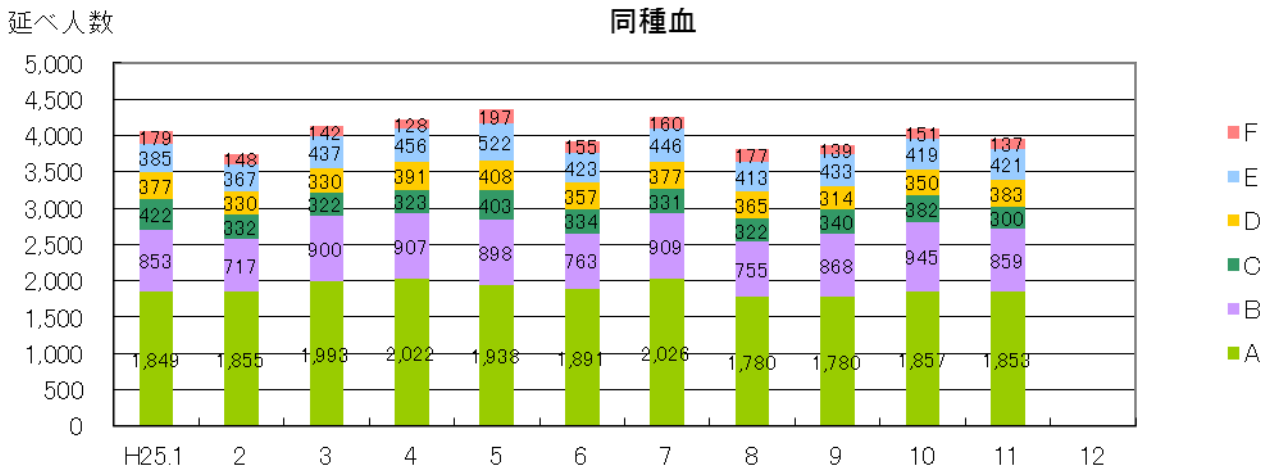
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

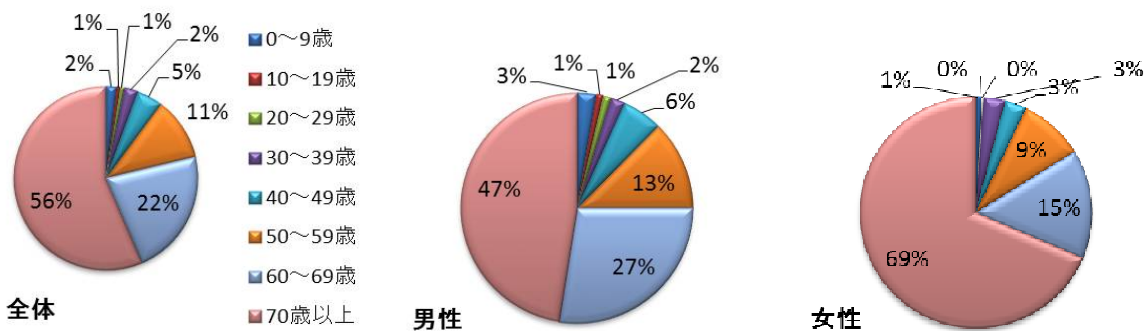
11月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,853	859	300	383	421	137	3,953
1床あたり	0.52	0.40	0.13	0.16	0.12	0.08	0.26
自己血	66	14	7	43	19	1	150
アルブミン	428	565	303	103	277	66	1,742

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出された 57 施設分のみ）

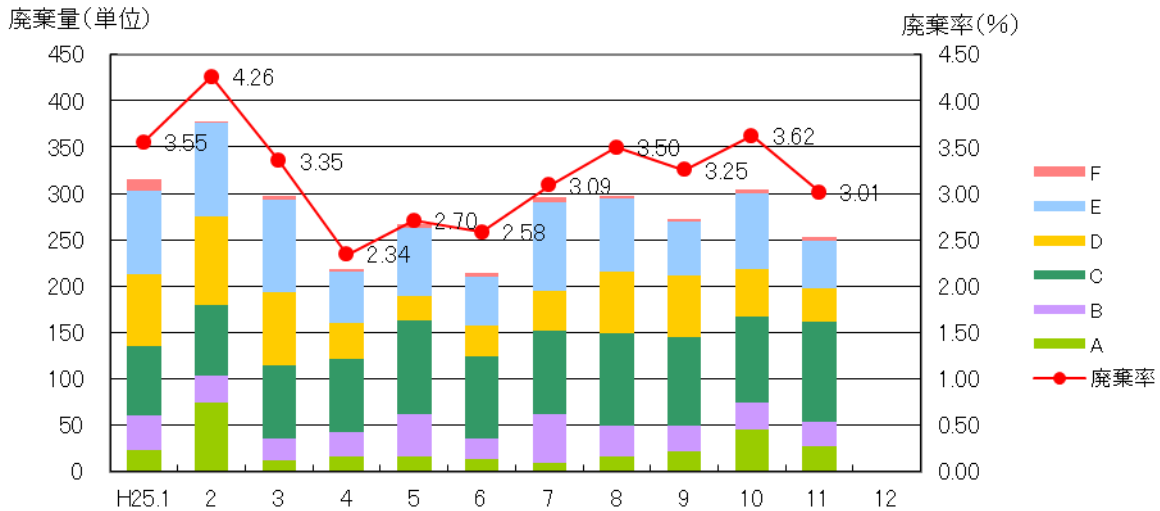
10月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	43	15	18	32	91	201	440	760	1,600
女	9	2	2	35	36	106	178	804	1,172
計	52	17	20	67	127	307	618	1,564	2,772



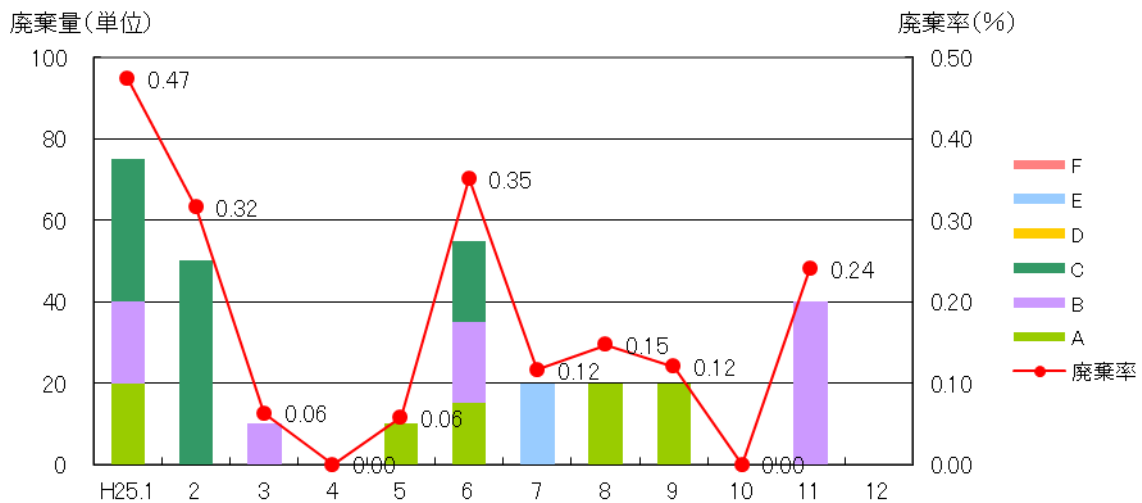
○血液製剤及び自己血の廃棄率

11月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	28	25	109	35	52	4	253
血小板製剤(単位)	0	40	0	0	0	0	40
血漿製剤(リットル)	1.8	2.2	0.0	1.9	1.2	0.0	7.1
自己血(リットル)	3.9	0.4	1.0	0.4	1.8	0.0	7.5

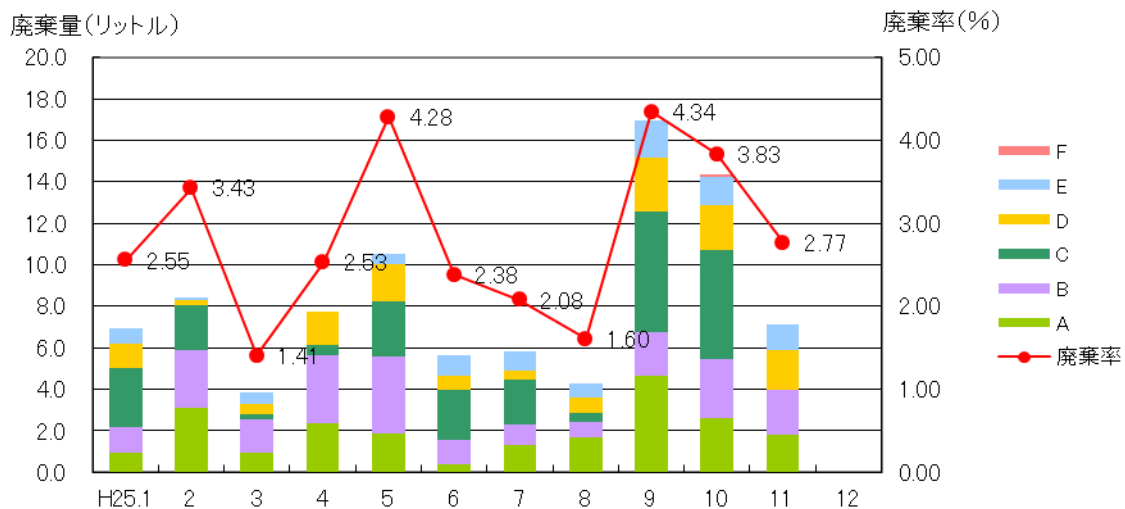
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

